

産業連携会議について（報告）

平成28年7月

総務省・文部科学省・経済産業省

産業連携会議で議論すべき課題

- 戦略会議は、次世代のA I技術に関し、研究開発と産業化の総合調整を行うため、3省が行う研究開発その他の事業の社会実装の円滑化、加速化に係る施策等の調査・検討を行う産業連携会議を設置する。（人工知能技術戦略会議運営要綱第7条第1項）
- 産業連携会議で調査・検討を行う課題と扱う優先順位は以下のとおり。

1. 産業化ロードマップの策定 …… 現在、2020、30年までのAI技術の潮流と出口の可視化
 2. 人材育成 …… AI時代の即戦力人材の育成（データサイエンティスト・エンジニア等）
中長期的なAI技術に係る人材育成方策
 3. データ整備・提供 & オープンツール …… AI研究や産業化のためのデータ共有枠組みの整備（政府保有データのデータセット化、収集・提供等）、AI汎用オープンツールの整備と提供
 4. ベンチャー育成・金融連携 …… ベンチャーの立ち上げ支援や、ベンチャーと大企業・金融機関等とのマッチング支援
 5. 標準化 …… 標準化すべきAI関連技術の特定と標準化の支援
 6. 規制改革分析 …… 人工知能の産業化に向けて必要となる規制・制度項目の整理
- ⋮

課題解決に向けた工程表（案）

課題	平成28年度				平成29年度		平成30年度	
	5 6月	7 9月	10 12月	1 3月				
産業化ロードマップの策定	タスクフォース（TF）の立上げ	TFを4～5回開催し、原案を検討	外部からの意見聴取（パブコメ等）	とりまとめに向けTFを開催	ロードマップに従った産業化の推進			
規制改革分析			産業化ロードマップ策定作業で、改革や整備が必要な規制を整理		成長戦略に提示	必要な制度の見直しを、産業連携会議で実施		
人材育成	タスクフォース（TF）の立上げ	活動に向けた準備	高等教育機関、研究機関での人材育成プログラム等の実施					
データ整備・提供&オープンツール	タスクフォース（TF）の立上げ	TFを6～7回開催し、整備すべきデータとその形式等を整理するとともに、整備・提供スケジュールを検討		データの整備と、各研究機関やAIポータル等を通じた外部へのデータ提供を実施				
			TFを月2回程度開催し、産業化に必要なオープンツールを整理するとともに、提供スケジュールを検討		オープンツールの整備と、各研究機関やAIポータル等を通じた外部へツール提供を実施			
標準化			データ、ツールの各TFで、標準化すべきデータやツール、標準化を進める場（IEC、IEEE、JIS等）を検討。また、そのための体制を順次組成し、標準化を推進					
ベンチャー育成・金融連携		タスクフォース（TF）の立上げ	ピッチイベントの開催等を実施					

▲：人工知能技術戦略会議の開催（P）

産業連携会議は2ヶ月に1回程度開催することを想定